



令和元年 10月18日(金) 第22号



第三関門[体育大会]、通過！



体育大会の実施に関しては、毎年天候が心配されます。過去には、予行が雨で実施できず、そのまま“ぶっつけ本番”のように大会当日を迎えたこともあります。雨のため学年練習や全体練習を体育館でおこなったことは何度もあります。今年は、直前に台風19号が日本に上陸したことで、大いに心配されましたが、予行・本番は天候にも恵まれ、当初の予定通りに実施することができました。今日の学年だよりでは、**体育大会の様子**について話をすることにします。



入場行進の姿には、その集団の“**団結度**”があらわれます。優勝するクラスは入場行進が上手だし、団結している学年は腕も足も揃った入場行進を披露します。ある意味で合唱に似ているかもしれません。「合唱なんてやりたくない」、「恥ずかしくて歌えない」などと思う人がいると、そのクラスの合唱は完成度の低いものになります。苦手な人も、その気持ちを我慢してクラスや学年のために力を合わせるという気持ちが必要です。入場行進もそれに似ています。ただ、61期生の入場行進はなかなかまとまらず、練習の段階ではお世辞にも「上手だ」とはいえないレベルでした。予行・本番の入場行進の中で、「**完成度を高めたい**」という気持ちこそ伝わってきましたが、それでもやはり「上手だった」とまではいえません。今後に**《課題》**を残したと考えておきましょう。

一方、競技や係の仕事などに関しては、迷わず**合格点**を出すことができます。そこには、先生たちがこれまで見てきた“61期生らしい姿”がありました。**大いに盛り上がり、仲間に声援を送る人。競技を終えて戻ってきた人を笑顔で迎えるクラス。思うような結果が出せず落ち込む人を優しく慰める仲間。自分の仕事をやり遂げることでクラスを正しく導く人。**どの姿も、私たち61期生がこれまでの学校生活の中で築きあげてきた、大きな**《成果》**です。2学期の学校行事を通して、クラス・学年の成果と課題が明らかになりました。でも、課題の方は、日ごろの学校生活の中でも解消できるはずのものです。ますます大きく成長しましょう！ そのための時間なら、まだまだあります。

◆体育大会(2年生の部)◆

令和元年 10月16日(水)実施

優勝 4組 準優勝 3組 学級旗賞 4組





誰かの存在に気づく[感性]を



私たちが「嬉しいな…」と思ったり、ふと心が温かくなったりするのはどんなときでしょうか？好きな漫画や小説を読んでいるとき？ スマホをいじっているとき？ ゲームをしているとき？確かにどれも魅力的だとは思いますが、何だかもの足りないとは思いませんか？ 面白い漫画や小説を読んだ後に、“仲間”とその話を共有できたら、その面白さは倍になります。多くのキミたちが持っているスマホも、本当に大切なのはその画面の向こうに存在する“友だち”でしょう？ 私たち人間は、結局のところ、人間関係の中で生活する生き物だといえます。ときどき「ちょっと1人になりたいな…」と思うことぐらいはあるでしょうが、ずっと“独りぼっち”というのはやはり寂しいですね。そのように考えると、私たちが「嬉しいな…」と思ったり、心が温かくなったりするのは、“友だち”や“仲間”、つまり、“自分を支えてくれる人”の存在を感じたときだといえます。“独りぼっち”が寂しいのは、「自分は誰にも支えられていない…」という孤立感を感じるからです。



これまでに何度もしてきた話ですが、何らかの行事がおこなわれるとき、その背後には、いつでも“裏方”の仕事をしている人たちがいます。それも、おそらくキミたちが思っている以上にたくさんの方が、陰となって支えてくれています。そして、その“裏方”の活躍がなければ、どんな行事もイベントも成り立ちません。2学期にあった水泳大会・合唱コンクール・文化発表会・体育大会でも、すべて同じことがいえます。これらの行事をおこなうとき、いつも“裏方”の人たちが陰となり、本当に頑張って仕事をしてくれました。特に、文化発表会や体育大会のときなどは、他の人たちが早くに下校しているのに、昼食を持参して活躍してくれました。この“裏方”の人たちが、まさしく“自分を支えてくれる人”だといえます。だから、大きな行事の前日は、いつも心が温かくなって、「きっと明日は大成功だ！」と確信し、心穏やかに当日の朝を迎えることができます。

大きな学校行事のときは“裏方”の存在に気づきやすいのですが、何もない普段の私たちの生活(学校でも家庭でも)に“裏方”は存在しないのでしょうか？ “自分を支えてくれる人”はいないのでしょうか？ そのことを知らないまま、あるいは、そのことを忘れたままで毎日過ごすのなら、私たちの人生、そんなに“もったいない”話はありません。学校行事は“自分を支えてくれる人”の存在に気づく、絶好のチャンスだったのです。それを感じることができれば、人生はもっと楽しくなります。幸せな人生を送れる人は、そのことに気づく“感性”をもっている人だといえます。

保護者のみなさまへ



体育大会に際しまして、たくさんの方がご来校くださり、声援を送ってくださいました。子どもたちが学校生活の中で成長している様子をご覧いただけたことと思います。また、昼食(お弁当)についても朝早くからご協力をいただきました。あわせてお礼を申し上げます。ありがとうございました。来週24日(木)・25日(金)には中間テストが控えています。学校行事とその取り組みなどで、やや慌ただしい日々でしたが、次は、落ち着いて家庭学習に取り組んでほしいと思っています。ご家庭でも話題にしていいただければ幸いです。引き続き、よろしくお願いいたします。